

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	舞踊	種目	バレエ
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしやこばやしばれえじむしょ				
	制作団体名	有限会社小林バレエ事務所				
	代表者職・氏名	代表取締役・小林英夫		団体ウェブサイトURL www.nkbt-tokyo.com		
	制作団体所在地	〒	151-0053	最寄駅(バス停) 小田急線・代々木八幡駅		
		東京都渋谷区代々木5丁目13-2				
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな	こばやしのりこばれえ・しあたー				
	公演団体名	小林紀子バレエ・シアター				
	代表者職・氏名	代表・小林英夫		団体ウェブサイトURL www.nkbt-tokyo.com		
	公演団体所在地	〒	171-0031	最寄駅(バス停) JR・目白駅		
		東京都豊島区目白2丁目39-1 TRAD目白B2F				
	制作団体 設立年月	1973年3月				
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等			
		代表取締役 小林英夫 取締役 小林紀子 小林健太 制作 小林健太 児玉玲子 真野琴絵 経理 田村陽子 監査 武田攝男(公認会計士・税理士)	団体構成員:団員27人/準団員6人/他職員等6人 加入条件:学生を除き朝10:00～レッスンに毎日(日曜除く)通えて、かつ16:00までのリハーサルに来られる高度なバレエのレベルを有する人。			
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	田村陽子		
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	田村陽子		
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス kobayashiballet.tokyo@nifty.com		電話番号 0339873648		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1973年設立(東京目白)。1974年3月第1回公演A.ロドリゲス振付「オンディーヌ」(主演:小林紀子)上演以来、2024年7月までに125回の公演を重ねる。1976年法人設立。2007年「コンシェルト」他の公演が、英國紙ファイナンシャルタイムズにて絶賛された。</p> <p>これまでに篠原聖一、板橋綾子、鈴木 稔、下村由理恵、小林十市、柳瀬真澄、島添亮子、小野絢子など、国内外で活躍する優秀なバレエダンサー、アーティストを多数輩出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術祭主催公演 1981年第17回公演「悪魔が夜来る」 ◆文化庁舞台芸術振興事業 2002年第72回公演 デレク・ディーン版「ジゼル」 ◆文化庁芸術団体重点支援事業 2003年第75回公演「レ・ランデヴー」他 ◆文化庁芸術創造活動重点支援事業 2006年第84回公演「コンシェルト」他 <p>文化庁芸術創造活動特別推進事業 2009年第94回公演マクミラン版「眠れる森の美女」全幕他、トップレベルの舞台芸術創造事業(現舞台芸術等総合支援事業:公演創造活動)2010年第100回記念公演マクミラン振付「マノン」、2012年「アナスタシア」、2017年「春の祭典」、2022年「ザ・フォーシーズンズ」など多数。</p> <p>【主な受賞歴】</p> <p>2008年「ザ・レイクス・プログレス」他の成果に対し平成20年度文化庁芸術祭大賞受賞。2012年舞踊批評家協会賞受賞。2020年「としま文化芸術特別賞」受賞。</p>
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年より文化庁本物の舞台芸術体験事業(現舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演))を全国の小学校、中学校において実施。これまでに東北、北陸、関東、甲信、東海、近畿、中国地方、九州など各地方にて、のべ100の市区町村で本事業を行う。 ・2022年文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」(文化施設等活用事業)の初年度より、鹿児島県(中種子町)、岐阜県(各務原市)、千葉県(君津市)、富山県(射水市)で公演を実施。 ・2019年にオープンした豊島区立芸術文化劇場(東京建物Brillia Hall)にて、バレエ団本拠地のある豊島区と連携し、区立幼稚園・小中学生を対象とした『ダイジェスト版くるみ割り人形』を上演。 ・また1988年から2007年まで、(財)日本青少年文化センターによる企画、栃木県教育委員会、県内教育委員会主催のもと約200校、のべ約60,000人をこえる生徒のために、バレエ、日本舞踊、現代舞踊とのコラボレーションによる「舞踊への招待」公演を実施。
	特別支援学校等における公演実績	<p>2017年6月文化芸術による子供の育成事業として横須賀市立ろう学校にて公演およびワークショップを実施。「自分ひとりだけではなく友達みんなと一緒に挑戦したい」という勇気のようなものがわいた」という変化を感じていただきました。結果、幼稚園児から高校生まで、すべての同校児童・生徒が公演、またはワークショップにてバレエを実際に体験。</p> <p>セリフを使わないバレエの面白さ・魅力を、個々の児童生徒さんの実態に即して効果的なアレンジを行ったプログラムを行うとともに、児童生徒が見通しをもって、意欲的に学習・体験できるように、補助テキストを配布するなど、先生と十分に打ち合わせを実施しました。また児童生徒の実態に即して安全に留意した内容を実施しました。</p> <p>2025年8月豊島区にて「障害をもつ子どものためのバレエワークショップ&おさらい会」を実施。特別支援学級の児童を対象に3日間にわたるワークショップと劇場「あうるすばっと」でのおさらい会を行いました。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://vimeo.com/757828760
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID: _____ PW: _____

別添	あり	【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター】		
対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>
企画名	～ ようこそ！ バレエの世界へ！ ～			
企画のねらい	<p>世界中の国々でずっと長く人気のあるバレエ。その人気の秘密はどこにあるのでしょうか？</p> <p>探求と協働で育む、表現力豊かな学びの循環</p> <p>「ようこそ！バレエの世界へ！」では、この問いかけに対し、事前ワークショップと4つの作品で構成された本公演を通して、豊かなバレエ芸術の世界を身近に感じてもらうことを目標としています。様々な角度からバレエの魅力を体験することで、子どもたち一人ひとりが自由に発見し、探求を進め楽し、そしてそれを友達とシェアする喜びといった、かけがえのない体験に繋がるよう、事後学習コンテンツを設け、公演の感動をさらなる探求の原動力とします。鑑賞後の振り返りや、バレエの歴史、音楽、衣装などを調べる活動を通じて、学校生活全体を豊かにする「学びの循環」になることを目標としています。</p> <p>「余白」が育む、多角的な視点と対話の力</p> <p>クラシックバレエはセリフを用いない芸術です。バレエに詳しくない児童・生徒の皆さんに画一的なイメージを押し付けるのではなく、見方・考え方を働きかせる「余白のある」解説者の助言を通してバレエに触れていく。体育館ならではの特徴を活かし、舞台をつくりあげる照明、音響、舞台装置など各部門で働くスタッフの姿もあえて見えるように工夫した「円形劇場」で、バレエが様々な専門家たちの協働によって成り立つ総合芸術であることを発見してもらいます。この体験は、子供たちが他者の役割や視点を尊重し、多様な考え方を受け入れる土壌を育みます。</p> <p>想像力・共感力の大切さ</p> <p>児童・生徒にとって身近な「他者とのかかわり」や「周囲の中での自分」をテーマとした、メインプログラム『ソリティール』では、周囲とうまく関われない主人公の少女が、やがて他者と心を通わせていく様子が描かれます。「主人公はきっと嬉しいんじゃないかな」「今さみしい気持ちかもしれない」「自分はどう思うか？」など、子供たちが主人公の感情に深く共感し、自身の経験と重ね合わせて考えるきっかけとなります。想像しながら鑑賞することで、相手の立場や視点を理解することの大さに気づき、この先のコミュニケーションの質が向上することも目標としています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>バレエ芸術がひらく、五感で感じる学びの扉</p> <p>私たちは、世界中で愛されるクラシックバレエを、単なる鑑賞の機会ではなく、子供たちが自らの感性を開花させるための体験として捉えています。初めてバレエに触れる児童・生徒の皆さん、常に新鮮な気持ちで奥深い世界に自然と引き込まれるよう、4つの演目を意図的に組み合わせました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演目①「ムーヴメント・カプリース」大迫力！ 生徒の皆さんすぐ目の前で、プロのバレエダンサーが力強く、そして優雅に舞います。初めて観る迫力の動きに、子どもたちはきっと息をのんで目を輝かせるでしょう。 ・演目②「アタック to バレエ」★生徒共演作品 一緒に体験しながら感じてみよう。これは、子どもたち自身が舞台に上がり、生のピアノ演奏に合わせてクラシックバレエに挑戦する参加型プログラムです。体を動かすことで、表現することの楽しさや、ダンサーの気持ちを肌で感じることができます。 ・演目③「コート・ダンス・パレード」★生徒共演作品 発見！バレエはセリフがなくても何を話しているか分かる！この作品では、マイムや表情を使って感情を表現するバレエの魅力を紹介します。子どもたちはダンサーと一緒に、言葉を使わないコミュニケーションの奥深さを発見し、表現することの面白さに気づくでしょう。 ・演目④メイン演目「ソリティール」周りの人たちとのかかわり、自分という存在について...。この英国の名作を通して、それぞれの心で感じる感動と学びをお届けします。作品の主人公は自分を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。他者との関係や自分の気持ちをどう表現するかを考えながら、新しい気づきに出会うきっかけとなるでしょう。 <p>演目選択理由: この4つの演目は、児童・生徒の「観る」「体験する」「発見する」「考える」という年齢に応じた循環的な学びを促すよう意図的にプログラムしています。「ムーヴメント・カプリース」でプロの卓越した技術で子供たちの好奇心と探求心を刺激し、「アタック to バレエ」で自ら体を動かし、やってみることで得られる気づきを学びます。「コート・ダンス・パレード」ではセリフを使わない表現の秘密を探り、最後に「ソリティール」で心の成長に繋がる深い問いに触れます。この構成により、単なる鑑賞を超えて、子どもたちの豊かな感性を育み、多様な考え方を受け入れる土台を作り、自己肯定感やコミュニケーション力を高めることを目指します。</p>			
本公演・ワークショ				

ツ プの 内 容	<p>ワークショップでは参加者全員で、「今日バレエ習ったよ！」と思わずご家庭で話したくなる体験を行います。多くの人に親しまれているクラシックバレエを、その特徴や仕組みとともに、実際に身体を動かして体験します。</p> <p>本公演で共演する児童・生徒は、円形劇場をイメージした舞台で、本格的な照明のライトを浴びて表現します。これは、普段の授業では決して味わうことのできない、まさに心を奪われる非日常の体験です。</p> <p>・ワークショップから本公演へ：自信を育むステップ 本番での不安をなくすため、子どもたちは事前に行われるワークショップで基礎的なステップを練習します。公演当日の午前中には45分間のリハーサルを行い、メインダンサーが丁寧にマイクで説明し、お手本のダンサーが近くで個別に指導します。これにより、子どもたちは安心して自信を持ってステージに立つことができます。</p> <p>・演目②「アタック to バレエ」：共演を希望する約20～24名の生徒「バレエダンサーはどうやってあんな動きができるの？」という素朴な疑問を、体験を通して解決します。ワークショップで学んだ内容を基に、ステージ上でプロのダンサーのお手本を見ながら、クラシックバレエの基本ステップに挑戦します。全身を使って踊ることの楽しさ、そして表現する喜びを身体で感じ、自己肯定感を高めることができます。</p> <p>・演目③「コート・ダンス・パレード」：共演を希望する約10名の生徒「セリフがないのに、どうやって物語を伝えるの？」という表現の秘密を発見します。衣装を着た様々な役柄のダンサーに混ざり、物語のキーとなる役柄を演じます。ワークショップで練習したマイムや表情を駆使することで、言葉を使わないコミュニケーションの奥深さを学び、豊かな感性を育みます。</p>				
児童・生徒の参加 または体験の形態	<p>児童・生徒の参加可能人数</p>		<p>参加・体験人數目安</p>	約40名程度	
			<p>鑑賞人數目安</p>	約400名程度	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>演目①『ムーヴメント・カブリース』 振付・演出：小林紀子 作曲：ルイ・ゴッドシャルク（米国）</p> <p>演目②『アタック to バレエ』“バレエダンサーに挑戦” ★生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 作曲：スコット・ジョプリン（米国）他</p> <p>演目③『コート・ダンス・パレード』“バレエ作品を体験” ★生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 作曲：アドルフ・アダン（仏国）</p> <p>演目④ メイン演目『ソリティール』 振付：ケネス・マクミラン（英国） 作曲：マルコム・アーノルド（英国） 初演：1956年6月7日 サドラーズ・ウェルズ・バレエ団（英国）</p>				
	公演時間	80	分		
出演者	<p>【解説】：小林紀子</p> <p>【出演者】：島添亮子、富川直樹、真野琴絵、望月一真、五十嵐耕司、小山 憲、川合十夢、情野詠太、竹本悠一郎、田辺淳、廣田有紀、濱口千歩、中村悠里、宮澤芽実、松山美月、武田麗香、須田莉那、三浦 舞、武田彩希、飯田穂香、福島さや香、中村杏奈、殖栗萌登</p> <p>【ピアノ演奏】：青木萌絵</p>				
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	<p>解説(芸術監督)小林紀子：英国ロイヤル・バレエスクール卒業。アジア人として初めてアデリン・ジェネ国際コンクール(英国)で金賞受賞。日本を代表するプリマバレリーナとして活躍。引退後、小林紀子バレエ・シアター芸術監督、RADジャパン代表、新国立劇場バレエミストレス、(公社)日本バレエ協会副会長等を歴任。旭日小授章、紫綬褒章、芸術大賞等受賞多数。</p> <p>(共演児童生徒指導および出演)島添亮子：小林紀子バレエ・シアターのプリンシパルダンサーとして、古典作品から近代作品まで幅広く主演。とくにマクミラン作品を体現する当代随一のドラマチックなダンサーと評される。文部科学大臣賞、服部智恵子賞、橋秋子賞優秀賞等受賞多数。</p> <p>(メインキャスト)真野琴絵：小林紀子バレエ・シアターのソリストとして『くるみ割り人形』『バレエの情景』『レ・ランデヴー』『ソリティール』で主演するほか、『コンチャルト』の第1楽章のプリンシパルを務めるなど幅広く活躍する。アデリン・ジェネ国際コンクールのファイナリスト。</p>				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	<p>出演者： 25 名 スタッフ： 25 名 合 計： 50 名</p>		<p>運搬</p>	<p>積載量： 4 t 車 長： 10 m 台 数： 2 台</p>	
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	<p>前日仕込</p>		<p>無</p>	<p>前日仕込所要時間</p>	
	到着	<p>仕込</p>		<p>上演</p>	
	8時	<p>8時～11時</p>		<p>内休憩</p>	
<p>※本公演時間の目安は、概ね2時間程度です。</p>					
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期について、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	<p>6月</p>		<p>7月</p>	<p>8月</p>	
	<p>10日</p>		<p>0日</p>	<p>0日</p>	
	<p>10月</p>		<p>11月</p>	<p>12月</p>	
	<p>14日</p>		<p>9日</p>	<p>5日</p>	
	<p>※平日の実施可能日数を記載ください。</p>			<p>計</p>	
				50日	

本公司
・ワークショ
ップの内
容

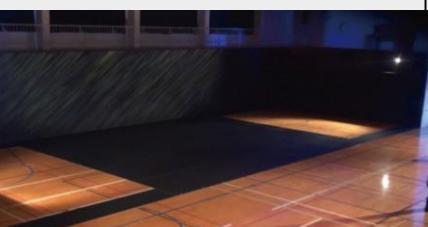
公演に係るビジュ
アルイメージ
(舞台の規模や演出
がわかる写真)

※会場条件につ
いて最低限必要
な条件がある場
合には、様式
No.4内「会場簡
易図面」を記載し
てください。



体育館が劇場に！体育館に足を踏み入れると、そこは臨場感たっぷりの円形劇場！

舞台を囲むように客席が配置され、どの位置から見てもダンサーの演技を間近で見ることができます。開演が近づくと、外からの明かりがほとんど遮断され、本当の劇場のように暗くなり、ライトが当たる舞台から目が離せなくなるでしょう。



出演者とスタッフ、総勢50名で
舞台を作り上げます。

4 t トラック2台分の機材を持ち込み、本物の劇場のように舞台を作ります。

体育館のフロアに、バレエ用の床シート「リリウム」を敷き、舞台を作ります。(図1)

大きなパネルを使って客席と舞台裏を仕切れます。(図2)

体育館の舞台の上は、本番時は縦帳を降ろして、衣裳部屋として使用します。(図4)

※縦帳が使用できない場合も対応可能です。



著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否		該当あり	該当コンテンツ名	ムーヴメントカプリース/アタックtoバ レエ/コート・ダンス・パレード
	該当事項がある 場合	権利者名			
	小林紀子			許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター】

ワークショップのねらい	<p>このワークショップは、多くの児童・生徒の皆さんにとって、初めて出会うバレエという芸術が「自分ごと」となって、本公司演を心から楽しむための大切な事前学習の場です。単に知識を得るだけでなく、全身で感じ、発見する体験を通じて、本公司演をより深く楽しむための準備をします。</p> <p>【知的好奇心と探究心の扉を開く】 児童・生徒の皆さん「知りたい！」という気持ちを大切にします。バレエの回転の仕組みや、セリフを使わない表現方法といった、普段は抱かないような疑問を、プロのダンサーが分かりやすく解説します。実際に試して「できた！」という達成感や、仲間と拍手を送り合う一体感を、次への学びの原動力に繋げます。</p> <p>【「憧れ」から「再会」に変えるコミュニケーション】 ワークショップは、本公司演で舞台に立つバレエダンサーと、児童・生徒の皆さんが初めて出会う場です。双方向のコミュニケーションを通じて、ダンサーが「憧れの存在」から「また会えるのが楽しみな人」へと変わります。これにより、本公司演当日には、見慣れない空間で緊張することなく、安心して舞台の世界に入り込めるようになります。</p> <p>【好奇心を自信に変える、学びのステップ】 児童・生徒の皆さん好奇心を自信へと変える学びのステップにすることも目標のひとつです。バレエの面白さに気づいたときに「面白いと思ったんだね！」と、その発見を肯定的に受け止め、さらに、「どうしてそう思ったのかな？」「一緒に調べてみようか？」といった問いかけを通じて、探求心を広げ、深い学びへと引き出します。本公司演で共演するパートの練習では、有名な踊りに挑戦したり、仲間と協力して一つの動きを完成させたりする経験を通して、好奇心を自信に繋げていきます。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安 約130名程度
ワークショップの内容	<p>このワークショップは、子どもたちがバレエを「自分ごと」として、心から楽しむための体験を届けます。</p> <p>●バレエ初挑戦！の子どもが、「今日バレエ習ったよ！」と思わずご家庭で話したくなる体験を。多くの人に親しまれているクラシックバレエを、その特徴や仕組みとともに、実際に身体を動かして体験していただきます。</p> <p>▶▶解説つき・生のピアノ演奏で、短い3つのパートに分けて行います。 「バレエの回転ってどうして目が回らないの？」や「セリフがないのに、どうやって気持ちを伝える？」といった、子どもたちの知的好奇心をくすぐる**「探求」と「発見」**に満ちたプログラムです。 (標準80分) ※児童・生徒は、動きやすい体操着などの服装で体育館に集合。</p> <p>・イントロダクション（5分）：「初めてましてのごあいさつ 芸術監督とプリンシパルダンサーが自己紹介を行い、子どもたちに「バレエを見たことはありますか？」と問いかけます。この相互コミュニケーションが、子どもたちの緊張を解き、これから始まる時間への期待感を高めます。 ～「くるみ割り人形」より、金平糖の精と王子のパ・ド・ドゥをピアノ生演奏で披露～</p> <p>・・バレエ実習①（25分）：男女ダンサーの実演とともに、簡単なバレエクササイズからスタート 「では、バレエをみんなで一緒にやってみたいと思います」という声かけで、子どもたちは能動的に参加します。ダンサーは、日頃のレッスンで使っている「足のポジション」や、目が回らない**「回転の秘密」**を楽しく解説。実際に試して「できた！」という喜びを全身で感じ、お互いに拍手し合うことで、達成感に満ちた笑顔が体育館に広がります。</p> <p>(実習ごとに水分補給の休憩を入れるなど熱中症対策や体調にも細心の注意を払います。)</p>		
	ワークショップ実施形態及び内容	 <p>© Noriko Kobayashi Ballet Theatre</p>  <p>© Noriko Kobayashi Ballet Theatre</p>  <p>© Noriko Kobayashi Ballet Theatre</p>	

・**バレエ実習②（15分）：セリフなしで物語を伝える** 中世ヨーロッパの衣装を着たダンサーが登場し、「セリフがないのに、どうやって気持ちや物語を伝えるの？」という疑問を、身振り手振りの「マイム」で体験的に解き明かします。子どもたちは、ダンサーの動きを真似ることで、言葉ではない表現方法があることを発見します。

・**バレエ実習③（20分）：本公演の共演演目による挑戦** みんなが知っている音楽に乗せて、本公演で共演するステップを練習します。バレエの有名なポーズ「アラベスク」やダイナミックな動きに挑戦し、「こんな動きを自分もできた！」という驚きと喜びを味わいます。周りの仲間が応援し、大きな拍手を送ることで、一体感と自己肯定感が育まれます。



・**締めくくり（5分）：終わりのごあいさつ** 「楽しい時間はあつという間でしたね。次は本物の劇場のように変わった学校の体育館で、また会えるのを楽しみにしています！」と伝え、**本公演への期待を最高潮に高めます。**

その他ワークショップに関する特記事項等

このワークショップは、子どもたちが心から安心して**新しいことに挑戦する喜びを感じ**ることができるよう注意を払って設計されています。

私たちは、子どもたち一人ひとりと**直接コミュニケーションを取りながら**、プログラムを進めます。附属のバレエ学校で子どもたちを指導している経験豊富なダンサーが同行するため、心身の成長過程にある児童・生徒の皆さんに、安全に、そして心を開いて楽しめるよう、**言葉遣いや声かけにも配慮**しています。

本公演の打ち合わせもワークショップ時に行うなど、先生方や学校に過度な負担がかからないよう、柔軟に対応させていただきます。
※ワークショップでは水筒をお持ちいただくことをお薦めいたします。随時水分補給していただけます。休憩を入れるなど熱中症対策や体調にも細心の注意を払います。



※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名】

小林紀子バレエ・シアター

】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。					
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。					
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。					
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。					
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。					
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。					

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上不可	主幹引き込み電源容量	電源車持ち込み	A以上
	舞台設置面積	間口 高さ	16 m 指定なし	奥行 m	10 m
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	1.8 m
	遮光の要否	7割程度必要	縫帳の要否	有無のみ確認したい	
	ピアノの使用について	必ず使用する	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	あり	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否	不要	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	必須	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	30 m以内	
	搬入車両の種類	大型トラック	台数	2 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	10 m
	備考	基本的な必要条件を記載していますが、一部条件を満たしていない場合でも対応可能な場合がありますので、実施校の状況に応じた対応が可能です。			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

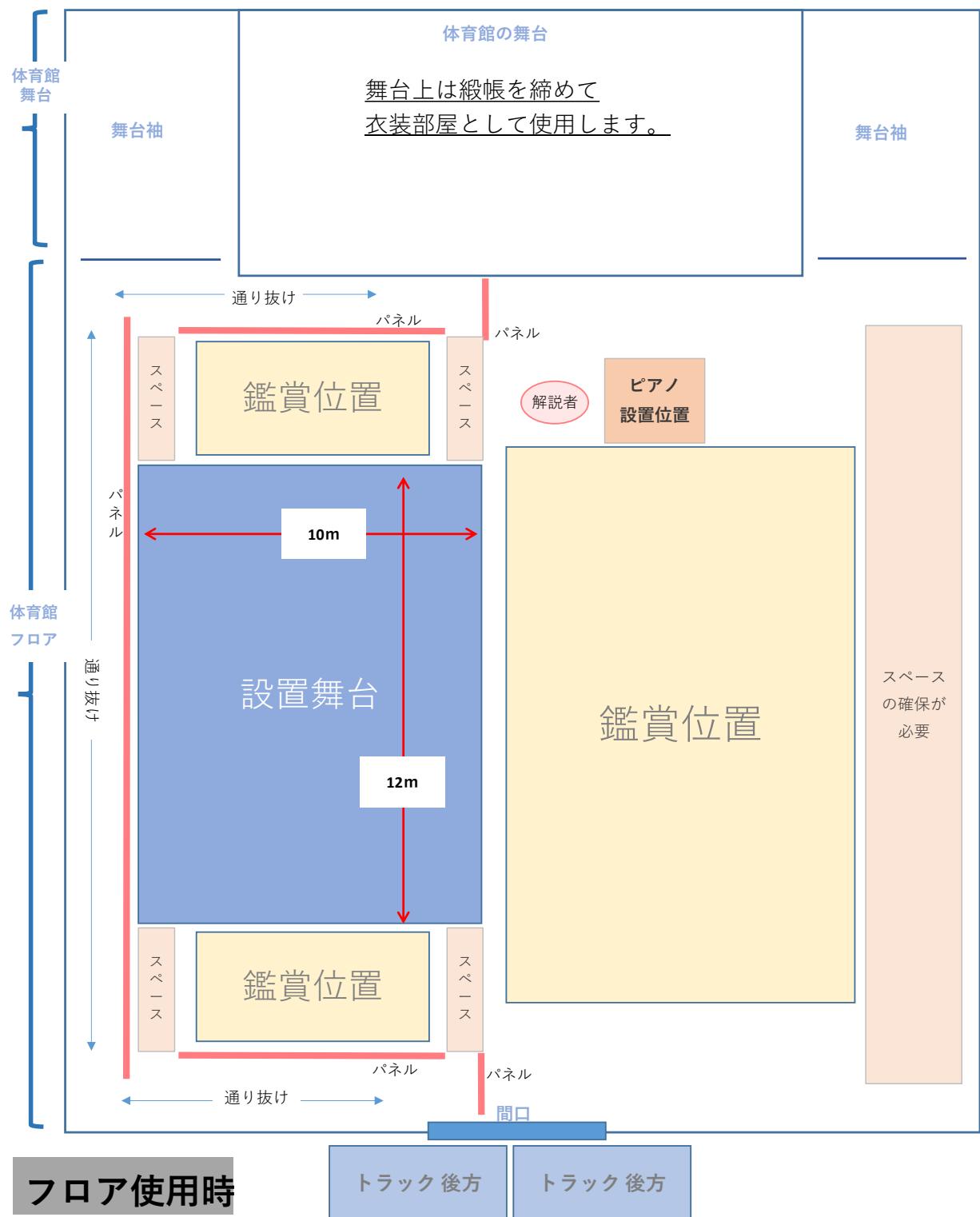
学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。		
	会場図面の提出要否	要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	不要	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。			
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
	ワークショップ				

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
	1	個別ヒアリング事項
	2	
	3	

(任意) 会場条件について最低限必ず奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

小林紀子バレエ・シアター

】

本事業への応募理由等	<p>本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫</p> <p>【本事業を通じて実現したいこと】</p> <p>目の前で繰り広げられるダンサーの躍動感あふれるパフォーマンスを鑑賞するという機会を提供するだけではなく、児童・生徒の探究心や自己表現力を引き出すための特別な学びの場として、本企画を捉えています。体育館だからこそできる特別な舞台空間でのバレエ体験が、多くの児童・生徒にとっての「初めてのバレエ体験」を、より鮮やかな印象として心に残すことの重要性を理解しています。</p> <p>公演後、児童・生徒の心には感動が深く刻まれ、授業での自己表現に良い変化や、新たな挑戦への意欲に繋がるよう意識して実施します。また事前学習としてのワークショップと本公演を通して、「自分はどんなことに感動するんだろう？」「どうすればこの気持ちを表現できるだろう？」など、自ら問いを立てて探求するきっかけを提供し、舞台芸術の世界やバレエを身近に感じる機会についています。</p> <p>【上記の実現に向けて、実施の工夫】</p> <p>ワークショップでは、参加した児童・生徒の笑顔が自然とこぼれるような工夫を凝らしています。バレエの基本ステップを楽しく学べる構成にし、まるで遊びの延長のように感じてもらえるよう配慮します。この体験が、児童・生徒の文化芸術に対する好奇心を刺激し、「もっと知りたい！」「本公演が楽しみ！」という気持ちを育みます。</p> <p>本公演は、五感に訴えかける学びを最大限に引き出すための演出を行います。臨場感のある円形劇場で、どの席からもダンサーの息づかいや表情を間近に感じられるように工夫します。児童・生徒は、普段見慣れた場所が非日常的な空間へと変化する驚きと興奮を味わい、バレエの世界に深く没入します。</p> <p>「余白のある」解説：バレエに馴染みのない児童・生徒に、画一的な見方を押し付けるのではなく、「主人公の少女はどんな気持ちかな？」などと問いかけることで、一人ひとりの感性で自由に物語を想像する「余白」を残します。</p> <p>参加型プログラム：児童・生徒が実際にバレエダンサーと共に舞台に立つ参加型プログラムを2演目設けすることで、見るだけでなく、自ら表現する喜びを体感させ、自己肯定感を高めます。</p> <p>舞台裏の公開：舞台袖のスタッフの動きをあえて見せることで、バレエがダンサーだけでなく、照明や音響など様々な人々の共同作業で成り立っている総合芸術であることを伝えます。</p>
	<p>【学校との連絡調整について】</p> <p>事前にお電話で校長先生、またご担当者の先生にご連絡を入れ、お打ち合わせでは、学校行事、登下校、給食時間といった学校ごとの事情を丁寧にヒアリングします。特に、初めて本事業を実施される学校には、過去の事例を交えながら、設営・撤収の流れやワークショップの進め方などを具体的にご説明し、不安な点を解消します。</p> <p>チェックシートを使ってわかりやすい情報共有と確認を行います：事前にチェックシートをご提供し、スケジュールや必要事項等をわかりやすく情報共有・確認できるようにいたします。熱中症対策、換気の確保、水分補給の時間、休憩のタイミング等の他、自然災害や感染症の流行等の緊急時の対応手順や、体育館の備品の使用方法、ゴミの分別ルール等、チェックシートで確認し、全スタッフに共有を徹底します。</p> <p>柔軟なスケジュール調整：設営の時間や、ワークショップ・公演の時間など、学校の日常的なスケジュールに無理なく組み入れるよう、事前にご相談させていただきます。</p> <p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</p> <p>多様な感性への配慮：「静かな雰囲気が苦手」「大きな音が苦手」「強い光が苦手」「暗い場所が苦手」といった個別のニーズを持つ児童・生徒がいる場合には、学校の意向を事前に確認し、別室でのリモート鑑賞や立ち歩きながらの鑑賞など、柔軟な鑑賞方法を提案します。</p> <p>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</p> <p>本事業を、単に一度の芸術鑑賞体験で終わらせるのではなく、公演での感動を起点に、子どもたちの探求心を育み、継続的な学びへとつなげることを目指しています。</p> <p>タブレットでの事後学習：探求を進める楽しさ、そしてそれを友達とシェアする喜びといった、かけがえのない体験に繋げるよう、事後学習コンテンツを設置し、タブレットからバレエの歴史、音楽、衣装などを調べる活動を通じて、「学びの循環」ができる仕掛けを設けます。</p> <p>地域との連携：事業の効果的な実施のため、学校に事前承認の確認を得たうえで、学校所在地のローカル紙等にプレスリリースを配信し、地元テレビ局や地域新聞等による公演当日の取材を受ける工夫をしています。公演での児童生徒の共演シーンや、児童生徒の感想などが、放送されることで公演が終わったあとも、より特別な体験として記憶に残る効果が期待できます。</p>
事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名】 小林紀子バレエ・シアター】
演目概要		<p>世界中の国々でずっと人気のあるバレエ。人気の秘密はどんなところにあるのでしょうか？</p> <p>●演目①「ムーヴメント・カプリース」</p> <p>▶▶初めて間近で観る磨き上げられたバレエダンサーの動きから目が離せない！</p> <p>みどころ：会場が暗くなり、鼓動のようなリズムから音楽が始まります。明かりがつと、バレエダンサーたちが目の前に！ バレエティーに富んだ曲想に合わせて、ソロや群舞、ダイナミックな動きやリフト、軽快な回転など、初めてバレエを目にする生徒さんへ新鮮な驚きと感動を与えます。クラシックバレエの醍醐味のひとつである多様なテクニックがちりばめられた作品です。</p> <p>*****</p> <p>●演目②「アタック to バレエ」★生徒共演作品</p> <p>▶▶どうやってあんな動きができるの？～みんなも生のピアノ演奏でバレエに挑戦しよう！</p> <p>みどころ：身体を使って音楽や物語を表現するバレエダンサーのトレーニングをご紹介し、生徒さんにバレエに挑戦していただきます。ワークショップで事前に練習したバレエの基本ステップやジャンプ、回転などを、舞台上で照明を浴びながら、テレビCMなどでお馴染みのチャイコフスキーの音楽のピアノの演奏で、楽しく踊っていただきます。バレエダンサーが丁寧にサポートするので安心です。</p> <p>*****</p> <p>●演目③「コート・ダンス・パレード」★生徒共演作品</p> <p>▶▶発見！役柄で衣装がこんなに違う！セリフがなくても物語が分かる！</p> <p>あらすじ：400年前のぶどう畠が広がる村では、村人たちが収穫でかけます。そこへ貴族の一行が通りかかります。重い織物で作られた衣装で一步一歩優雅に歩く貴族たちを、村人たちは軽やかな踊りで歓迎します。すると突然時間が止まります。さあこのあと物語はどうなるのでしょうか？</p> <p>みどころ：セリフがないバレエでは、「マイム」と呼ばれる動きで言葉を表します。「あなたのお洋服、素敵ですね！」「喉が渇いたので飲み物はありませんか？」など、自然な動きで初めて見る人でも分かり易いです。児童生徒の皆さんには、物語に欠かせない役柄を演じていただきます！ワークショップでしっかりステップの練習をしますので心配いりません。</p> <p>*****</p> <p>●演目④「ソリティール」</p> <p>▶▶主人公はひとりでいろいろなことを空想するのが大好きな少女。</p> <p>▶▶周りの人たちとのかかわり、自分という存在について…それぞれの心で感じる英国の名作</p> <p>あらすじ：中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。少女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。</p> <p>友達は少女に手を差し出し、少女はその手を取ります。友達は、楽しそうに少女に駆け寄って彼女を驚かせたり、少女の気持ちに寄り添い包み込みます。少女や友達がどんなお話しをして、少女がどんなことを考えているのか想像しながら見ると、きっと少女やそのお友達の話し声が聞こえてくるでしょう。</p> <p>みどころ：少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関りの中で少女が抱く憧れや、希望、憂いが、穏やかでユーモラスに、かつ切なく描かれています。セリフを使わないからこそ、心の奥に響きます。ひとりひとりの児童生徒が、それぞれの視点で観て感じてもらいたいバレエ作品です。</p> <p>＜『ソリティール』振付：ケネス・マクミラン Kenneth MacMillan＞（1929-1992）</p> <p>スコットランド生まれ。『マノン』、『マイヤリング』、『ロメオとジュリエット』といった世界的な大ヒット作をはじめ数々の傑作バレエを手がけた英國を代表する世界的に有名な振付家。英國ロイヤル・バレエの芸術監督などを歴任。'83年、英國バレエ界への多大な貢献に対しKnight（ナイト）の称号が与えられ、約90もの振付作品を生み出した彼の業績が称えられ、オリヴィエ特別賞が贈られた。</p>
演目選択理由		<p>●実際にすぐ目の前で繰り広げられる、磨きあげられたバレエダンサーの躍動。</p> <p>▶▶初めて見るバレエの動き。手が届きそうな近さで、インパクト倍増！！</p> <p>バレエの大きな特徴のひとつに、セリフなどを用いずに、ダンサーの動きのみで作品の世界観を表現するということがあげられます。舞台で躍動するバレエダンサーの身体を通して、音楽のイメージ、作品のテーマ、男女の感情、そしてストーリーが語られるのです。だからこそバレエダンサーは、たえず自分の技術や表現力を磨き、全身を使って多くのことが表現できるよう訓練しています。</p> <p>*****</p> <p>●どこから観ても特等席！臨場感たっぷりの客席設計。</p> <p>▶▶一步体育馆に足を踏み入れると、いつもの体育馆がすっかり剧场に姿を変えています！</p> <p>舞台を囲むように客席が配置された円形剧场をイメージした舞台では、どこから観ても特等席！どの位置から見てもダンサーの演技を間近で見ることができます。それぞれの角度からダンサーの色々な表情が良く見え創造力がふくらみます。これは、低学年の児童でも舞台に注目し、バレエの世界に浸ることができるための工夫です。开演が近づくと本当の剧场のように暗くなり、ライトが当たる舞台から目が離せなくなるでしょう。</p> <p>円形剧场では、踊る人も見る人も一体になって、みんなでワクワク・ドキドキをシェアして楽しめます。</p>